

産業建設常任委員会

委員長 森脇 徹

行政視察を実施しました

8月8日、9日の日程で行政視察を実施しました。今回は、高島市環境センター(ごみ焼却炉)が平成14年12月の運用開始から8年が経過し...



静岡県浜松市での研修

用状況とごみ焼却による発電について、浜松市役所担当職員から説明を受けました。

この施設は、市街地に立地しており、ごみを焼却する際に発生する熱や蒸気で温水や電気をつくり、自施設だけでなく隣接するスポーツ施設(温水プール)で有効利用しています。

現在の高島市の施設は、今津町途中谷の山の中に建設されています。しかし、次期の施設を建設する時は、市街地において、エネルギーの再利用を最重点に考えて、かつ環境に配慮した施設を建設しなければならぬ必要性を実感しました。

2日目は、環境省の大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課を訪問し、循環型社会形成推進について研修しました。

ごみ処理施設に対する国の交付金について、近年の状況、また、23

年度の当初予算の概要の説明を受けた後、「循環型社会形成推進交付金制度」について交付金の交付対象や交付率について聞き、高島市

◆駐車場の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案の審査

今期定例会において、当委員会が付託を受けた条例案件1件の審査を行うため、9月1日に産業建設常任委員会を開催しました。

議第70号「高島市駐車場の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案」は、市の市営駐車場有料化の方針に基づき、「近江今津駅前第2駐車場」を無料駐車場と有料の一時利用駐車場の2駐車場に整備しなおし、名称をそれぞれ「近江今津駅前第2駐車場」と「近江今津駅前第3駐車場」に改めるという改正と、あわせて「安

雲川駅前第1駐車場」を有料の一時利用駐車場に整備しなおし、「今津駅前第3駐車場」と「安曇川駅前第1駐車場」の有料一時利用駐車場で1回当たり300円の駐車料金を徴収しようとするための条例改正案です。



有料の一時利用駐車場が整備される市営駐車場

の施設が、この制度に該当するか否か等について質問し、回答を得たところです。

成果を今後の委員会審査に活かし、付託された案件に対して適切な判断をしていきたいと考えています。

以上、2日間の視察

でしたが、この研修の

審査の過程で、委員からこの条例案に係る修正案が提出され、修正案も併せて審査しました。委員からは、「工事期間中の代替の駐車場の確保と、効果的な事業の展開を図る必要がある。また、平成22年度病院事業会計は、昨年に引き続き、2年連続で黒字となり、単年度の純利益3億3千834万円を計上しました。これまでの経営改善の取り組みが成果として表れたものと評価できます。今後も、累積赤字の解消や医師・看護師不足の対応など、来年度の新病院の開院に向け、健全経営を持続する努力が求められます。

文教福祉常任委員会

委員長 梅村 彦一

◆高島学校給食センターを廃止。高島小・中学校の給食調理は安曇川センターに移行

今期定例会において、当委員会が付託を受けた条例案件6件の審査を行うため、9月1日に文教福祉常任委員会を開催しました。

議第64号は、高島学校給食センターの建物および調理機器等の老朽化にともない、2学期から高島小・中学校の学校給食の調理・配送用務を安曇川学校給食センターに移行したため、本条例から高島学校給食センターを廃止するものです。採決の結果、賛成多数により原案のとおり「可決すべきもの」と決しました。

また、議第65号から議第69号の5議案は、指定管理者が管理・運営を行っている福祉施設「朽木デイサービス

決算特別委員会

委員長 廣本 昌久

◆平成22年度 13会計の決算を認定 6億731万円の単年度黒字

平成22年度高島市一般会計、特別会計および事業会計の全13会計について、18名の委員による決算特別委員会を設置し、9月20日、21日の2日間にわたり審査を行いました。

委員会では、予算が適正に執行されているか、行政効果や経済効果などを評価。また、新年度予算編成や市政に生かすべき課題についても積極的に提案を行い、13会計ともに「認定すべきもの」と決定しました。

審査では、市税の未収金対策、財政運営に直結する諸問題への中長期的な事業展開等に多くの議論がありました。普通会計の歳出総額は、282億2千814万円。全体的には

